

事後評価結果（平成21年度）

担 当 課：関東地方整備局道路部道路計画第一課
担当課長名：古川 慎治

事業名	一般国道4号 <small>にしほら</small> 西原交差点改良	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局	
起終点	自： <small>とちぎけんうつのみやしにしほらまち</small> 栃木県宇都宮市西原町 至： <small>とちぎけんうつのみやしにしほらまち</small> 栃木県宇都宮市西原町	延長	0.7 km			

事業概要
国道4号は、埼玉県春日部市、幸手市、栃木県小山市、宇都宮市等の中心市街地を連絡し、都市内、都市間交通を支える幹線道路としての役割を担っている。西原交差点改良は、川田交差点の立体化、西原交差点の改良、国道4号の4車線化（0.7 km）整備を行った事業である。

事業の目的・必要性
西原交差点改良は、宇都宮中心市街地の渋滞の緩和や宇都宮市中心部へのアクセス向上を目的としている。



事業の 効果 等	事業期間	事業化年度	S57年度	用地着手	H3年度	供用年	(当初)H19年度/ (実績)H19年度/	変動	1.0倍
		都市計画決定	S46年度	工事着手	H8年度	(暫定/完成)	(実績)H19年度/		
	事業費	計画時	(名目値) / 100億円	実績	(名目値) / 85億円			変動	0.9倍
		(暫定/完成)	(実質値) / 億円	(暫定/完成)	(実質値) / 80億円				
	交通量 (当該路線)	計画時	(H42)	実績	(H21)			変動	101%
		(暫定/完成)	/39,600台/日	(暫定/完成)	/39,800台/日				
	旅行速度向上		15.8	32.7km/h		交通事故減少	143	107件/億台キロ	
	(供用前現道 当該路線)	(供用直前年次)H19年度		(供用後年次)H21年度		(供用前現道 供用後現道)	(供用直前年次)H16~19年度	(供用後年次)H21年度	
	費用対効果 分析結果 (当初)	B/C	2.1	総費用	102億円 (事業費: 99億円 維持管理費: 3億円)	総便益	212億円 (走行時間短縮便益: 208億円 走行経費減少便益: 3億円 交通事故減少便益: 1億円)	基準年	平成16年度
	費用対効果 分析結果 (事後)	B/C	2.1	総費用	105億円 (事業費: 103億円 維持管理費: 1.7億円)	総便益	218億円 (走行時間短縮便益: 184億円 走行経費減少便益: 27億円 交通事故減少便益: 7.6億円)	基準年	平成21年度
	事業遅延によるコスト増			費用増加額	- 億円	便益減少額	- 億円		

事業遅延の理由
客観的評価指標に対応する事後評価項目
対象区間と並行する生活道路の交通量が減少（1,700台/日 1,200台/日）し、生活道路の沿道環境（安全）が向上。

	日常生活圏の中心都市へのアクセス向上（下野市～宇都宮市 47分 41分）	その他13項目に該当
	その他評価すべきと判断した項目	-
事業による環境変化	環境影響評価に対応する項目	-
	その他評価すべきと判断した項目	-
事業評価監視委員会の意見 さらなる事業評価及び改善措置の必要はないものと認める。		
事業を巡る社会経済情勢等の変化		
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 渋滞緩和・安全性向上等の効果が発現されており、さらなる事業評価及び改善措置の必要はない。		
計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性		
特記事項 なし		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。